

## 広島市まちづくり市民交流プラザ運営委員会 第二回運営委員会 会議録

日 時 平成 24 年 10 月 10 日(水) 15 時 00 分～16 時 30 分

場 所 まちづくり市民交流プラザ 南棟 4 階協議室

出席者 (委 員) 柿本委員、波多野委員、東委員、弘中委員 (欠席：中島委員)  
(プラザ) 田村館長、新谷

### 議事及び会議要旨

#### 議事 1. 広島市まちづくり市民交流プラザ運営委員会役員(副委員長)の選任について

広島市まちづくり市民交流プラザ運営委員会副委員長は、互選により東委員を選任することで承認を得た。

#### 議事 2. 広島市まちづくり市民交流プラザ事業について(進捗状況の報告)

事務局から広島市まちづくり市民交流プラザ事業の 9 月末現在の進捗状況の報告と、10 月以降の実施計画の説明を行い、各種事業について意見が交わされた。

・メールマガジンの情報について、講座開催の案内情報だけでなく、アンケート結果で受講者の評価的な情報などがあれば、次回講座に参加してみようとするような動きにつながるのではないかと。また、託児サービスの利用が少ないようだが、託児スペースのラウンジが知られていないと思うので、しっかり PR してはどうか。

○情報提供についてはどこまで対応できるか課題である。託児スペースは 9 月にソファやカーテンを設置するなど授乳環境の改善に努めているので、ホームページで PR していきたい。

・事業で行っている託児の時間帯はどうなっているのか。

○以前は午前中のみであったものを、昨年度後半からは午後にも拡充している。

・イベント実施の時はどうしているのか。

○パソコン講座以外では託児サービス事業は実施していないが、5 月に開催した市民交流フェスタでは、実行委員会でボランティアを募り託児を行った。

・市民との協働事業において、男性の子育てグループとの話し合いや、活動の発表の場を提供するなどして、子育て仲間を増やせる機会をつくれないうか。

○そのような相談があれば、団体との連携事業や成果発表事業なども含め、随時検討したい。

・公民館学習グループ活動発表の場として書道作品展を開催するようであるが、これまでどのようなものを開催したのか。また、音楽発表のようなものはないのか。

○写真、絵画、手工芸などを行ってきた。また、広島市のイベント「ドリミネーション」に合わせたロビーコンサートを 11 月に行っている。

・まちづくりボランティア人材バンクの発表会が月 1 回であるが、もう 1 回くらい増やせないか。

○南棟 1 階展示ロビーを使うので、他の団体の展示事業との調整で難しい。

・発表会の成果がわかるように、自由に書き込める感想ノートなどを置いてはどうか。

・次につながる資料があるとよい。

・パソコンサロンの参加状況はどうか。

○パソコンサロンは 40 台ある内の 20 台を開放しているが、概ね各回とも定員に近い参加をいただいている。

・パソコンサロンは講座を受けるほどではないが、ちょっとわからないところを聞いてみたいと

いう場合によい。

- ・講師は5人なのか。

○原則5人でお願いしているが、ボランティアでそれ以上参加いただいている時もある。

- ・まちづくり学校についてであるが、若い方が中心か。年代を知りたい。

○幅はある。

・地域社会でまちづくりを進める上で、中高年の力は大きい。定年退職後の人を対象とするなど中高年が参加しやすい形でできないものか。そういう方が地域で戦力になると思うのでお願いしたい。また、情報発信の件で、フェイスブックの活用というのが出たが、その中の「いいね」という項目は効果がある。例えばプラザ事業を紹介して、前回の利用状況をお知らせしたら「いいね」状況が星五つだった、ということになれば、中身を読まなくてもそれで判断してもらえる。

- ・可視化ということである。

- ・結果、効果が見えるものとして活用してみるのはいい。

・市民との協働事業で観光アシスタントの養成講座を予定しているが、卒業生はどのように把握しサポートするのか。

○この事業はボランティア活動入門の位置づけで、学習の成果を活動に活かしてもらいたいと考えており、できれば共催団体の観光アシスタント協会が活動の受け皿になってもらいたいと考えている。

・二葉の里など各地でボランティアガイドが活躍しているが、ニーズはあるので受講者のデータ管理をしてうまく活用してほしい。

・地域発まちづくりワークショップを子ども会の育成者を対象に開催したことは大賛成である。地域団体との連携をテーマとしたことも絶対不可欠で、子ども会が無いことで成り立っていない町内がたくさんある。子どもは入りたい、残りたいと思っても親が地域から離れている。そうした時、老人会や女性会と連携することができれば、親の負担も軽減され子ども会は成り立つのではないか。

- ・子どもはスポーツ系の活動に入って土日はほとんどいない状況がある。

・そうした活動をしていない、できない子どもたちには、子ども会がなければ何も受け皿が無い状況である。

- ・結局母親に負担がかかっている。

・地域団体との連携。こうした場でしっかり訴えてほしい。地域団体の中では子どもの必要性を感じているし、面倒を見てもよいと思っている大人もいる。

- ・子ども会活動をとおして保護者も成長しているので、関わらなくてはいけない。

・ワークショップ参加者が学習したことを地域にフィードバックできる仕組みがほしい。硬直した組織に新しい情報を届けて風穴を開ける人が必要である。

・地域団体が集うような機会があれば、そういう場で研修成果を発表してもらおうのも情報共有できてよいかもしれない。

- ・フリースペースの活用状況について、3階の利用が空いているように見えるがどうか。

- ・利用者が変動しているということはないか。中高生が多かった時期があったが。

○利用人数実績は前年度と比較しても大きな変動はない。時間帯や曜日によるかもしれない。

・個人的な感想であるが、成果発表事業の障害児者の作品展「アートルネッサンス」には感動した。一人でも多くの方に観てもらいたい。PRにも協力したい。

- ・a-ネットの使い方がわからない。

○ a ネットへは施設が情報を入力するので、掲載希望のものがあれば、情報提供いただくだけで良い。

・メルマガの発信頻度が月1回では少ない。フェイスブックなどは一日に何度も更新しているものもある。いきなりは無理でも、ボリュームを変えるなどして工夫してもらいたい。

・予算の問題はないか。

○予算よりも人手の問題なので、どこまで業務として対応できるかが課題であるとする。

### 議事3. 広島市まちづくり市民交流プラザ管理・運営について

平成23年度指定管理者の業務実施状況の概要・評価について報告し、管理・運営全般について意見が交わされた。

・印刷サービスは重宝している。ポスタープリンターは経年により交換する部品の調達が難しいようであるが、廃止しないようお願いしたい。

### 議事4. その他について

・余暇活用相談会を担当しているが、件数が減少傾向にあるので新しいテーマを検討している。余暇という言葉が中高年には抵抗があるようなので、自由時間の活用とかもう少し軽い表現にしようと思っている。また、有料の電話相談を活用できないか考えている。一般的に高齢者の電話相談は有料が多く、これは時間延長を区切れるだけでなく、利用者にも有料だったら安心して気兼ねなく使えるという意識があるようである。

・生涯学習相談も講師と内容によって参加人数に上下がある。ただ学習するだけでなく、それが自分のキャリアとか資格取得に結びつくことにつなげてほしいと考えている。

・次回は平成25年2月13日（水）午後3時からの開催とさせていただく。

閉会